

分野：A

# 「赤坂の森でオオタカが棲める森を育てよう」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・こどもエコクラブ

所要時間  4時間

場所 堀兼・赤坂の森

実施時期 令和2年11月15日

## 概要

市民団体と県と狭山市が購入した「おおたかの森・赤坂の森」で以前、子供たちが植栽したアカマツを元気にしてオオタカが棲める森を育てる。森の探検をしながら、用具を使って森を豊かにする手入れを学ぶ。

## プログラムのねらい

幼稚園児から中学生までの世代を超えたメンバーがお互いに協力し合い、ノコギリと太枝切ばさみ、剪定ばさみなどを使えるようにする。以前、こどもエコクラブや幼稚園児たちが植えたアカマツが大きく育つように、手入れをする。リンドウやユリなどの野草に注意をしながら活動をする。伐り出した樹木は虫元気に活用する。

## プログラムの内容

- 1 集合場所の公園駐車場から徒歩で（15分）  
森を観察しながら活動場所へ
- 2 秋の生きものたちの説明（5分）  
特にスズメバチへの対応とヤマウルシの見分け方を説明
- 3 残すアカマツとヤマツツジの見分け方と野草の説明（5分）
- 4 用具の数の確認とトイレの設置（5分）
- 5 アカマツを元気にする活動（90分）
- 6 お弁当（40分）
- 7 午後の活動（30分）
- 8 「アカマツを伐らないで」のポスター描く（30分）
- 9 用具の片づけと数の確認、トイレ撤去（5分）
- 10 公園駐車場へ徒歩で帰る（15分）



## 受講者の反応

ノコギリを使うのは初めてで少し怖かったけれどもケガもしないで上手に使えました。ヤマツツジを見分けるのが難しかったが慣れてきたら見分けることができるようになった。なぜアカマツとヤマツツジを残すのかも分かって楽しかった。せっかく育ったアカマツが知らない人に途中から切られて枯れてしまったのが悔しかったので、アドバイザーの方から紙をもらって「切らないで！」と皆でポスターをたくさん描きました。アカマツが大きく育ってオオタカが棲んでくれると嬉しいです。

## 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

